

2023 年 10 月 4 日
一般社団法人 日本船主協会

ノルウェー王国 クリスティン・イグルム大使の表敬訪問について

この度、当協会はノルウェー王国のクリスティン・イグルム駐日大使らの表敬訪問を受け、明珍会長、土屋副会長、森重理事長らが会談を行いました。概要は以下の通りです。

【会談概要】

日付：2023 年 10 月 3 日（火）

場所：川崎汽船

出席者：

ノルウェー大使館 クリスティン・イグルム駐日大使、ティーネ・トマセン等書記官
ミカール・ルイス・ベルグ シニアマーケットアドバイザー

日本船主協会 明珍幸一会長、土屋恵嗣副会長、森重俊也理事長、他

会談の冒頭、明珍会長はイグルム大使の駐日大使着任を歓迎するとともに、シップリサイクル条約発効（2025 年 6 月）に至るまでのノルウェー政府の積極的な役割に謝意を表明、その上で、持続可能な経済の実現に向け、両国官民が海運分野を中心に長年の協力関係を維持・発展していくことを求めました。また、土屋副会長からは CCS（二酸化炭素回収・貯留）を巡る邦船社とノルウェー企業のプロジェクト事例を紹介し、CCS が脱炭素化に向けた解決策の一つとなることを相互に確認しました。また、森重理事長からは、IMO が外航船舶からの GHG 排出を規制する最も重要なルールメイキングの場であり、2050 年頃までの GHG 排出ゼロ目標を実現するためには中期対策の早期合意が必要となるところ、IMO の主要加盟国である両国政府のリーダーシップに期待する旨発言がありました。

これに対し、イグルム大使からは、CCS 分野におけるノルウェー政府の積極的な関与について説明があった他、次世代船舶に乗船する船員への訓練や IT 技術を積極的に活用した船舶の安全性・効率性の確保等の重要性が指摘されたほか、今後も海運・環境先進国の両国が官民ともに幅広い分野で緊密な協力関係を築いていくことへの期待が表明されました。



写真左から 森重理事長、トマセン一等書記官、明珍会長、
イグルム大使、土屋副会長、ベルグ シニアマーケットアドバイザー